

サギタリウスチャレンジ結果報告書

■ 企画概要

「京都の街をキレイに、人の心をキレイに」をコンセプトに、ポイ捨てされたゴミの清掃活動、落書きの除去・落書き防止のためのシャッターペイントなど街の美化活動を行う。

提案企画 「祇園祭の清掃活動」(祇園祭で出る大量のポイ捨てを大人数で掃除する)
「リーガルウォール」(シャッターなどにある落書きの上に芸術性の高い絵を描き、落書きの除去・防止と景観の改善を行う)

■ 実施内容報告

- 2004年7月 京都産業大学の届出団体となる。
現在、基本的な活動として、毎月第1・3土曜日に御池通りの清掃活動を実施中。
- 「祇園祭の清掃活動」
実施期間：7月14日～16日の3日間(夜11時から開始)
実施内容：新風館様、鈴鹿山保存会様、京都酔唄様、ヒューマンリング様の4団体と協力し合い、鈴鹿山保存会の町内の清掃活動を実施。一日あたりゴミ袋20袋以上のポイ捨てのゴミを回収、街角に臨時に設置された簡易ゴミ箱の撤去も行った。
(当初予定していた、山鉾連合会と合同で祇園祭の後に一斉に清掃活動をすることは出来なかった。理由は、深夜の街で清掃ボランティアを行っている際に、ボランティア参加者が何らかの事故や事件に巻き込まれた場合、山鉾連合会が責任を取れないため。)
- 「リーガルウォール」
最終的に実施できず。

8月：三条・四条界隈の落書きのある店舗、公園を下見。公園でのリーガルウォール実施に向け市役所と交渉。しかし、不許可。
9月：三条商店街の落書きのある店舗全店に交渉し、1店舗から許可を得る。
10月：デザイン案を制作し、提案。一部デザインを変更後、許可。
11月：実施予定店舗の閉店が急遽決定。計画が白紙に戻る。
12月：三条・四条界隈の落書きのある店舗をしらみつぶしに交渉、全て断られる。その後交渉を続けるも協力は得られず。

- メディア

10月：「10円新聞」(ヒューマンリング発行)に clean spiral kyoto の特集記事が掲載される。

12月：KBS 京都の情報番組「ハッピーシニアライフ」のボランティア紹介コーナーで clean spiral kyoto の活動が紹介される。

3月：FM COCOLO の番組「ON THE MOVE」のゲストコーナーに clean spiral kyoto 代表の若谷と副代表の梅林が出演し、clean spiral kyoto の活動が紹介される。



■ 活動を通しての感想

自分達が実施したいと考えている計画の実施が、予想以上に困難で、簡単に進むだろうと考えていた自分達の甘さを痛感した。何よりも、企画を実施することで何か問題が起こった際、学生に責任が取れるか否かが問題になって、協力を得られないことが多々あった。学生の内だから様々なことに挑戦できるものの、その責任をどう取るかを深く考えず行動したことで、当初の予定とは大きく異なった散々な結果でサギタリウスチャレンジを終えることとなってしまった。今後はこの経験を活かし、ただ「したい」という思いだけで行動するのではなく、それを行うことでどんなリスクがあり、何か問題が起きた際にどのように責任を取るのかを考え、行動していかなければならないと思う。

また、基本的な活動として隔週で街の清掃活動を行い、参加者を部員以外に学外からも集めて実行したことで、普段交流を持つことがあまり無い多くの方々との交流を持つことができた。このような、学外の方との交流を持つことで、様々な考え方に触れることができ、自分達の考え方の幅が広がったように思う。自分とは異なった考え方に触れることで、凝り固まった自分の考え方に刺激を与え、新たな考え方ができるようになるなど、多くの人との交流が如何に大切なことであるかを再認識した。